

IBM Power System S822

セキュアなインフラストラクチャーのために、オープン・テクノロジーによって構築されたスケールアウト型のアプリケーション・サーバー

ハイライト

- 複数のアプリケーションとインフラストラクチャーのワークロードを仮想化環境に統合。ビジネス・トランザクション処理とソーシャルおよびモバイルのためのアプリケーションを同じサーバー上で実現
- UNIX と Linux のワークロードを統合
- IBM® POWER8 プロセッサと、Coherent Accelerator Processor Interface (CAPI) テクノロジーによって実現するスマートなアクセラレーションにより、より迅速にインサイトを獲得
- エネルギー制御機能を活用してエネルギー消費量を削減

Power Systems: データを活用するためのイノベーション データ集約型アプリケーションのために、影響の発生時点で迅速に インサイトを提供

データを活用するための POWER8 プロセッサのイノベーションをベースに、IBM Power Systems が提供する新しいサーバーは、影響の発生時点で速やかな対応ができるように、これまでの倍のスピードでインサイトを提供します。POWER8 プロセッサのイノベーションをベースとする第 1 世代のシステムは、データ中心型アプリケーションの高速化と効率化を実現し、データセンター・テクノロジーの物理環境および仮想環境の限界を打破します。

POWER8 プロセッサのイノベーションをベースとする Power Systems は以下の機能を提供します。

- POWER8 プロセッサと、主要ワークロードに対応する FGPA アクセラレーターなどの CAPI テクノロジーが実現するアクセラレーションにより、より迅速にインサイトを獲得
- CAPI Flash によって遅延の短縮と占有スペースの縮小を実現
- メモリーと I/O を 2 倍に拡張し、システム間のデータ移動を高速化
- 50% 増のコアによってサポートされたトランザクション・メモリーと、コア当たり 2 倍の同時スレッド数のサポートによって、データベース、トランザクション、その他のマルチスレッド・アプリケーションで高速化と効率化を実現

ビッグデータとアナリティクスのために最適化された設計

企業は、大量のデータを蓄えています。データを活用するための POWER8 プロセッサ・テクノロジーをベースに構築された Power Systems は、増大するワークロードをサポートするために柔軟な拡張が可能で、より迅速なビジネス上のインサイトの獲得を支援します。Power Systems は、ビッグデータ向けの設計であり、データベース、ビジネス・インテリジェンス、データウェアハウス、予測分析ソリューションといった計算指向のアプリケーションのパフォーマンス要求に対応して最適化されています。また、データの急増に対応して柔軟に拡張できます。

IT の開発とデリバリーの方法を変革してオープンなイノベーションを実現

Power Systems のオープン・テクノロジー・プラットフォームは、オープンなサーバー開発コミュニティと OpenPOWER Foundation の中核を成すアーキテクチャーを採用しており、幅広いアプリケーションの開発と新しいテクノロジーの迅速な実現のために、生み出したイノベーション、アプリケーション、テクノロジー・コンポーネントをさまざまなコミュニティに提供しています。Power Systems 向けにオープン・スタンダードを活用するツールが提供されており、コモディティなアーキテクチャーに存在する制約を取り除くことで、開発者は生産性とパフォーマンスを向上できます。Power Systems は、イノベーションを継続してプラットフォームに組み込み、計算指向やデータ指向のタスクを大幅に加速させる、統合ハードウェア・ソリューションの未来像を実現します。



IBM Power System S822

Power System S822 は、複数のアプリケーションとインフラストラクチャーのワークロードを仮想化環境に統合し、ビジネス・トランザクション処理とソーシャルおよびモバイルのためのアプリケーションを、同じサーバー上のUNIX と Linux のオペレーティング環境において実現します。Power System S822 は、実際に使用するプロセッサ・ソケットの数を 1 基にするか2 基にするか柔軟に選択して発注できる2 ソケットのシステムで、必要に応じてプロセッサを拡張できます。また、POWER8 プロセッサによるコア当たりおよびソケット当たりのパフォーマンスの向上、新しい I/O 機能、内部ストレージとPCI Express の容量とパフォーマンスの向上、CAPI アクセラレーター・デバイスをサポートする機能、ホット・プラグ対応 PCI Express 機能などの RAS の向上といった数々のメリットを提供します。



IBM Power System S822 の概要

システム構成	モデル 8284-22A
プロセッサとメモリー	
マイクロプロセッサ	1個または2個、6コア 3.89 GHz または 8コア 4.15 GHz、もしくは 10コア 3.42 GHz POWER8 プロセッサ・カード
レベル 2 (L2) キャッシュ	コア当たり 512 KB
レベル 3 (L3) キャッシュ	コア当たり 8 MB
レベル 4 (L4) キャッシュ	DIMM 当たり 16 MB
メモリー (最小/最大)	16 GB、32 GB、64 GB の 1,600 MHz DDR3 モジュール 1ソケット: 16 GB/512 GB、2ソケット: 32 GB/1 TB
プロセッサからメモリーへの帯域幅	ソケット当たり 192 GB/秒
ストレージと I/O	
標準バックプレーン	SFF ハードディスク (HDD)/ソリッド・ステート・ドライブ (SDD) ベイ×12
デュアル IOA 高性能バックプレーン	SFF HDD/SSD ベイ×8、1.8 型 SSD ベイ×6
メディア・ベイ	スリムライン DVD×1
SAS コントローラー (内蔵)	標準: RAID 0/5/6/10。オプション: 7200 MB ¹ キャッシュ、Easy Tier 機能
アダプター・スロット	付属の PCI Expressスロット(x8)×1 には、クライアントが使用できるように 4 ポート 1 Gbps Ethernet LAN を収容することが必要 PCI Express 3.0 スロット×9 (並行保守可能): PCI Express 3.0(x16)×4 と PCI Express 3.0 (x8)×5 プロセッサ・モジュール当たり CAPI アダプター×1
I/O 帯域幅	ソケット当たり 96 GB/秒
拡張機能 (オプション)	
PCI Express 3.0 I/O ドロワーの最大数	1

IBM Power System S822 の概要

電力、RAS、システム・ソフトウェア、物理的特性、保証

電源要件	200 V ~ 240 V
可用性 (RAS) 機能	プロセッサ命令再試行 代替プロセッサ・リカバリー 選択的な動的ファームウェア更新 Chipkill メモリー エラー訂正コード (ECC) L2 キャッシュ、L3 キャッシュ 障害モニター搭載のサービス・プロセッサ ホットスワップ可能ディスク・ベイ PCI Express スロットのホット・プラグ並行保守 ホット・プラグ予備電源機構と冷却ファン プロセッサの動的割り振り解除 PCI スロットの拡張エラー処理
オペレーティング・システム ²	AIX, Linux on POWER
サイズ	87 mm (H)×443 mm (W)×755 mm (D)
保証	3 年間、翌営業日対応オンサイト修理・保証サービス (9×5/CRU)、保証サービスのアップグレード、メンテナンスを利用可能
エネルギー消費効率 [※]	掲載対象外

※エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和 54 年法律第 49 号、以下「省エネルギー法」という) で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。ただし、複合理論性能が 200,000MTOPS 以上のものについては省エネルギー法対象外装置であり、掲載のエネルギー消費効率は参考値となります。

詳細情報

IBM Power System S822 の詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/systems/jp/power/hardware/s822/index.html



© Copyright IBM Corporation 2015

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
April 2015

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, Easy Tier, Power, POWER, POWER8, および Power Systems は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

本資料は最初の発行日の時点で得られるものであり、随時、IBM によって変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

本資料の情報は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証、および第三者の権利の不侵害の保証を含む、すべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。

実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。

¹ 書き込みキャッシュ 1.8 GB を圧縮することで最大 7.2 GB が有効になります。

² OS バージョンの詳細については、Facts and Features 資料を参照してください。



Please Recycle
